

## 「お盆」って、なあに？



毎日暑いね。夏と言えば祭りの季節。  
そして、祭りと言えば「盆おどり！」

祭りで「盆おどり」を踊るのは  
なぜだろう…。そもそも「お盆」  
ってなあに？



じゃ「お盆」ってどんな日かを  
一緒に見てみよう！



「お盆」のことが楽しくわかる  
おすすめの絵本

「おぼん ぼんぼん  
ぼんおどりの日！」

お盆の日に帰ってきた  
おばあちゃんに勇気を  
もらったこなつちゃん。  
お盆が終わり、二人の  
お別れの時間が近づい  
てきました。心が温まる  
お話と、お盆に関する豆  
知識が満載の絵本で  
す。



作:ますだ ゆうこ  
絵:たちもと みちこ  
発行:文溪堂

お盆は、昔ながらの日本的な民族行事と、盂蘭盆会(うらぼんえ)という仏教行事がもとになり、先祖の霊を迎えて供養する行事です。お盆の期間、先祖は生きていた時に過ごしていた家に帰ってくるとわれています。お盆の最初の日は「迎え火」で出迎え、お盆の間は仏壇の前にお供え物で飾った盆棚(ぼんだな)を作って供養し、最後の日は「送り火」で送り出します。

※盆棚を作らない地域もあります。地域によって、お盆の日は違います。



迎え火

(先祖が帰ってくる  
時の目印となる)



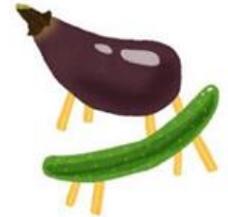
送り火・灯籠流し

(先祖を見送る)



盆おどり

(平安時代に行われ  
ていた「念仏踊り」が  
お盆と結びつき、先  
祖を供養する踊りと  
なった)



「きゅうり馬(精霊馬)と  
「なす牛(精霊牛)」

(先祖が早く帰ってこられる  
ように「馬」に乗り、ゆっくり  
帰ってもらうため「牛」に乗  
ってもらうという意味)



ハギッスの中に「きゅうり」と「なす」を  
かくしたよ。どこにあるかな？さがし  
てみてね！



きゅうり



なす

## 豆知識シリーズ ③ 『子どもの権利条約』 part 36 多様な文化にふれる、知る、大切にすること

子どものことを考えるときの前提「4つの原則」

1. 命を守られ 成長できること	2. こどもにとって もっとも良いこと
3. 意見を表明し 参加できること	4. 差別のないこと



日本にはお盆を含めて、さまざまな伝統行事や伝統文化があります。それは、外国にルーツのある人も同じです。「多様な文化にふれる・知る」ことは、子どもの育ちにとってとても大切なことですね。みんなが互いの文化にふれあって理解を深め、尊重していけたらいいですね。西成区には、神社の夏祭り、盆踊り、地藏盆などがある地域もありますよ♪

～わが町にしなり子育てネット～



子 どもの権利  
4つの柱



生きる  
けんり



育つ  
けんり



参加する  
けんり



守られる  
けんり